

# がん化学療法レジメン登録書

1 枚目

登録日：

登録番号：

病院長

印

診療科部長

印

化学療法委員長

印

申請医師

印

薬剤部長

印

適応疾患： 切除不能な進行・再発非小細胞肺癌

レジメン名： ビノレルビン療法

## レジメン審査委員会

開催

開催省略（理由：日本肺癌学会編「肺癌診療ガイドライン(2014年度版)」記載レジメンの為）

### レジメン審査委員会審査結果

承認（参加委員の全会一致）

登録分類：常用レジメン 患者限定レジメン

承認不可（理由：\_\_\_\_\_）

備考：\_\_\_\_\_

委員長	委員医師	委員医師	委員医師	委員医師	委員医師	委員薬剤師


### 〈審査会開催条件〉

・以下ア～エのすべてを満たす場合にのみ開催できる

ア) レジメン申請医師の出席

イ) 化学療法委員医師の過半数以上の出席（申請診療科の委員が出席することが望ましい）

ウ) 出席する委員医師のうち1名は化学療法委員長であること

エ) 化学療法委員薬剤師1名以上の出席

・上記以外に委員長が必要と認めた者は出席可能とする。

・欠席した委員は審査会の決定に従う。

# がん化学療法レジメン登録書

2 枚目

登録番号：

がん種/レジメン名		実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類			
切除不能な進行・再発非小細胞肺癌 ビノレルビン療法		点滴静注	日常診療（治療）	進行・再発・転移癌 1st、2nd、3rd、4th			
1 クールの投与期間		21 日/クール		備考			
Day	投与順	薬品名（成分名）	投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート
1,8	1	ビノレルビン	25	mg/m <sup>2</sup>	生理食塩液 50mL	5min <sup>※1</sup>	Div.
	2				生理食塩液 50mL	5min	
	3				生理食塩液 100mL	15min <sup>※2</sup>	
<small>※1 ビノレルビンの血管外漏出の予防のため漏れがないかを確認する</small> <small>※2 ビノレルビンによる末梢静脈炎の予防のために血管内を洗い流す</small>							

**【投与開始基準】** ※ナベルピン®IF 等より

項目	基準値及び症状
白血球	≧2000/μL
好中球	≧1000/μL
PS	0~2

**【投与量の増量基準】**

無し

**【投与量の減量基準】** ※ナベルピン®IF 等より

ビノレルビン：

項目	減量を考慮する値	ビノレルビン
白血球減少	≧Grade3	80%に減量 又は投与延期を検討
好中球減少		
血小板減少		
T-Bil	2.1~3.0mg/dL	50%に減量
	>3.0mg/dL	25%に減量

**【特に注意すべき副作用と対策】**

白血球減少、好中球減少・・・症状に応じ、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の投与、G-CSF 製剤の使用を考慮（FN 診療ガイドライン、G-CSF 製剤使用についてのガイドラインに準じ対応）  
 ヘモグロビン減少・・・症状に応じ、輸血を考慮（血液製剤の使用指針に準じ対応）  
 血小板減少・・・症状に応じ、輸血を考慮（血小板輸血に関するガイドラインに準じ対応）  
 血管痛、静脈炎・・・ビノレルビン投与後は十分な輸液で血管内を洗い流す（投与中の注射部位周囲の加温も検討）  
 ※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照すること